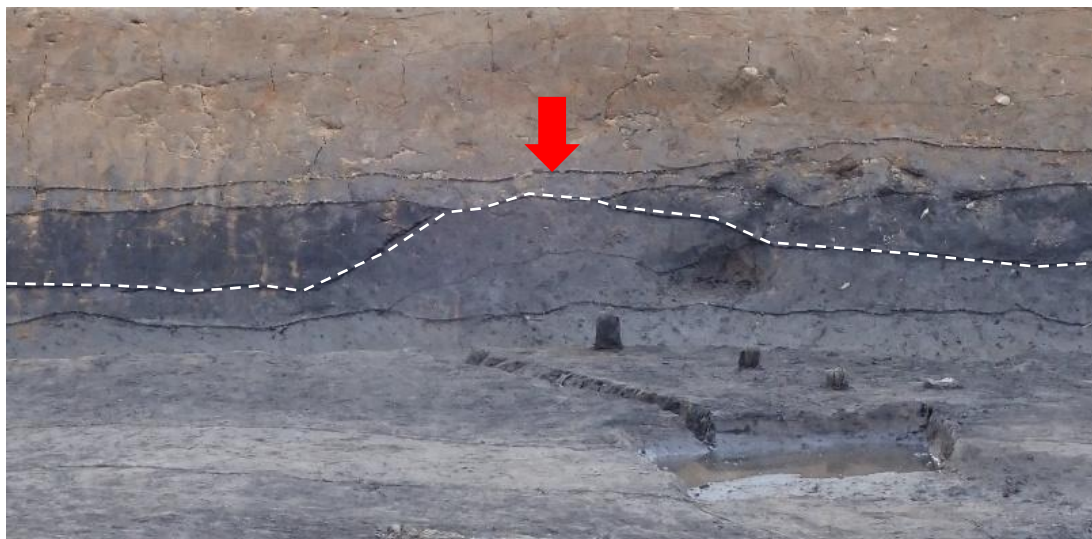


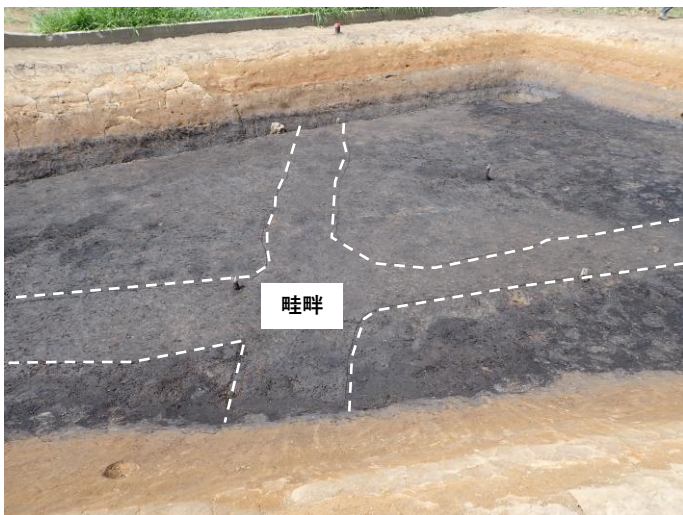
《古墳時代から奈良時代と推測される水田跡がみつかりました！！》

市道町川田大門線南側のT14・T15調査区の発掘調査が完了しました。

地表面から約130cmほど下で古墳時代から奈良時代と思われる水田の畦畔^{けいはん}がみつかります。また、T14調査区では畦畔に沿って長さ100cm程度の杭が打ち込まれていました。T15調査区内の一角では畦畔が不明瞭となります。過去の上信越自動車道部分の調査では、T15調査区付近で水田が確認されなくなることが分かっており、今回の調査成果と一致しています。周辺環境の復元については、今後科学分析による検討を行います。



壁面で確認された畦畔の盛り上がり(T15調査区)



古墳時代から奈良時代の水田の畦畔(T14調査区)



古墳時代から奈良時代の水田の畦畔(T15調査区)



畦畔に伴う木杭(T14調査区)



畦畔に伴う木材(T15調査区)

《水田で出土した遺物》

水田面での遺物の量は少ないですが、古墳時代の土器(土師器)などが出土しています。

土師器は甕(煮炊きに用いる土器)の割合が多いです



古墳時代の土器(T15調査区)

《これからの調査の予定》



T12調査区の調査

7月下旬から市道町川田大門線北側のT12調査区の調査を実施しています。隣接するこども園の調査では、中世の居館跡である川田氏館跡に関連する遺構が確認されており、T12調査区でも多くの発見があるものと期待されます。新たな調査成果は今後の発掘によりお知らせします。

長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田963-4

電話：026-293-5926

担当：中野、小山、鹿田

支援業務：(株)島田組

(足立、高見澤、樽谷、給田)

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P：<https://naganomaibun.or.jp>

